

政策 5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり（教育・文化の振興）

施策 5 - ① 学校教育の充実

施策のねらい

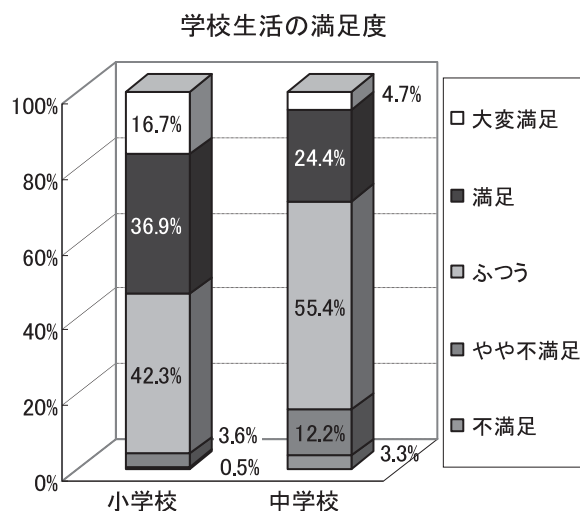
学校生活に満足している児童生徒が増加します。

施策の成果指標（施策の目的達成度を示す指標）

	単位	基準年度 現状値	平成 24 年度 目標値	指標 分類
◇学校生活に満足している児童の割合	%	95.9	→	成果
児童の学校生活に対する満足度を見る指標です。小学 5 年生を対象に実施するアンケートで、学校生活について「大変満足」「満足」「ふつう」と回答した児童の割合です。				
◇学校生活に満足している生徒の割合	%	84.5	↗	成果
生徒の学校生活に対する満足度を見る指標です。中学 2 年生を対象に実施するアンケートで、学校生活について「大変満足」「満足」「ふつう」と回答した生徒の割合です。				

施策をとりまく環境変化

- ⊕ 幼児児童生徒数は、少子化に伴い、今後減少
平成 19 年 幼児 440 人、児童 3,263 人、生徒 1,917 人
平成 24 年 幼児 375 人（△14.8%）
児童 2,520 人（△22.8%）
生徒 1,575 人（△17.8%）
- ⊕ 合併により、幼稚園・小中学校数が
幼児・児童・生徒数と比して多い状況
（小学校 13 校、中学校 6 校、幼稚園 8 園（就園率 50%））
- ⊕ 子どもの遊び場の減少
- ⊕ 子どもたちの規範意識の低下
- ⊕ 子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ
- ⊕ 不登校児童生徒数の増加
- ⊕ 学校への保護者の参画が少ない状況
- ⊕ 給食費の滞納問題



施策を実現する手段（基本事業の構成）

基本事業名	基本事業のねらい	基本事業の成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)
基本事業 5-1-① 教職員の研修の充実	●全教職員が充実した研修を受けています。	◆校内研修に意欲的に取り組んでいる教職員の割合
基本事業 5-1-② 「確かな学力」の向上と 「活きた学力」の推進	●教科の特性を踏まえた個に応じた授業が受けられます。	◆学習意欲の向上が見られる児童(小5)・生徒(中2)の割合 ◆市が取り組む少人数指導授業に係る講師数 ◆英語指導助手がいる授業の割合(小学校) ◆英語指導助手がいる英語授業の割合(中学校)
基本事業 5-1-③ 「健やかでたくましい体」の育成	●健康な体がつくられ、体力が向上します。	◆学校健診で異常と認められた児童・生徒の割合 ◆新体力テストで県平均を上回っている種目の割合
基本事業 5-1-④ 「豊かな心」を育む	●自ら律しつつ、相手を思いやる心を持つ児童・生徒が増加します。	◆不登校児童生徒の割合 ◆体験活動の実施時間数
基本事業 5-1-⑤ 安全な教育環境の整備	●安全・安心な教育環境・施設になっています。	◆小中学校の耐震化率 ◆学校維持管理上の修繕件数
基本事業 5-1-⑥ 教育施設の適正配置の推進	●児童・生徒の減少、教育内容の充実及び施設の老朽化に伴い、教育施設の適正な配置がなされています。	◆児童・生徒1人当たりの運営コスト ◆必要普通教室の割合 ◆給食1食当たりのコスト



政策 5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり（教育・文化の振興）

施策 5 - ② 生涯学習の推進

施策のねらい

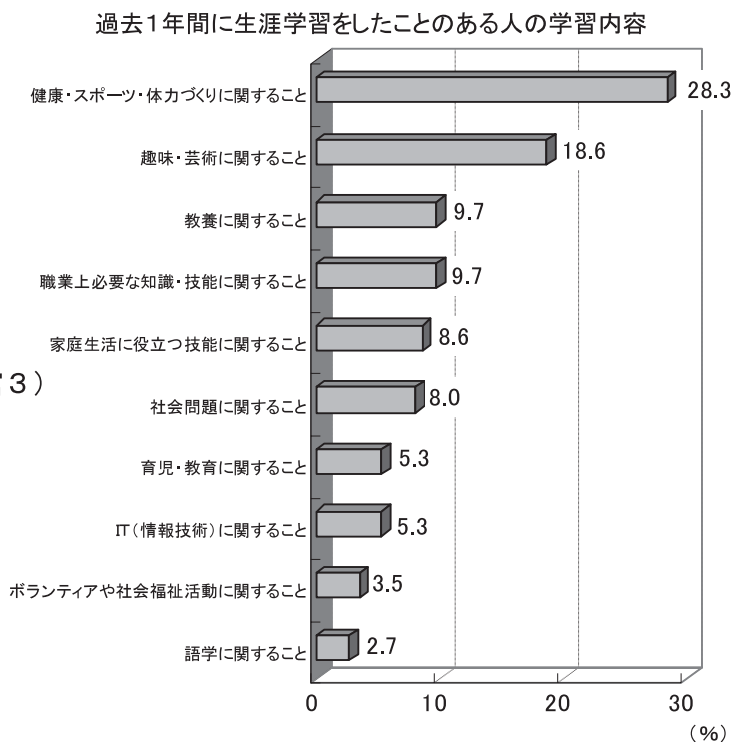
生涯学習の環境が整い、学習の機会が増加することで、市民の学習への取り組みが増加し、自己実現が図られます。

施策の成果指標（施策の目的達成度を示す指標）

	単位	基準年度 現状値	平成 24 年度 目標値	指標 分類
◇生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%	26.8		成果
市民の生涯学習の取り組み状況を見る指標です。市民アンケートで、生涯学習として趣味や習い事に取り組んでいると回答した市民の割合です。				

施策をとりまく環境変化

- ⊕ 団塊の世代の退職により学習ニーズの多様化・高度化がより高まる。
- ⊕ 物の豊かさから心の豊かさを求める時代
- ⊕ 生涯学習施設の利用者の増大
- ⊕ 公民館等の生涯学習施設の不足（公民館類似施設 4、文化会館 2、図書館 3）
- ⊕ 指定文化財件数（国 2 件、県 12 件、市 82 件）
- ⊕ 伝統文化や継承者の減少
- ⊕ 芸術文化への関心が上昇傾向



施策を実現する手段（基本事業の構成）

基本事業名	基本事業のねらい	基本事業の成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)
基本事業 5 - 2 - ① 学習ニーズに対応した学習機会の提供	●生涯学習のメニュー、機会が充足しています。	◆生涯学習の機会が充実していると思う市民の割合 ◆ニーズに合致する生涯学習メニューが充足していると思う市民の割合
基本事業 5 - 2 - ② 生涯学習施設の充実	●生涯学習施設が多くの市民に利用されています。	◆生涯学習施設の利用者数
基本事業 5 - 2 - ③ 文化財の保護・活用	●文化財の活用により、市民の文化財への関心が高まり、文化財が保護、継承されます。	◆文化財を活用した事業への参加者数 ◆歴史民俗資料館入館者数
基本事業 5 - 2 - ④ 芸術文化活動の充実	●芸術文化の鑑賞・活動・発表等を通じ、芸術文化に親しみ心豊かな潤いのある生活を送っています。 ●芸術文化活動に参加できる体制が整っています。	◆芸術文化の鑑賞の機会が充実していると思う市民の割合 ◆市主催の芸術文化事業への参加者数 ◆芸術文化活動・発表等の機会が充実していると思う市民の割合

用語解説	◆生涯学習施設	: 文化活動や趣味教養、ボランティア活動、講演会、講座など市民への生涯学習機会の提供や支援を行う拠点で、ここでは、山武市立の公民館、図書館、文化会館などを指します。
	◆指定文化財	: とりわけ重要なものとして、国・県・市町村から指定を受けたものが指定文化財です。
	◆伝統文化	: 昔から農業を中心とした生活の中から、作業の区切りとして神事が行われ、無病息災、五穀豊穡祈願に結び行事が郷土芸能の形として伝承されてきたものです。
	◆芸術文化	: 人間が長年にわたって形成してきた習慣や振舞いの体系で、ここでは主に文学や美術、音楽などを指します。

政策 5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり（教育・文化の振興）

施策 5 - ③ スポーツの振興

施策のねらい

継続的にスポーツを行うことにより、心身ともに健康な生活を営むことができます。

施策の成果指標（施策の目的達成度を示す指標）

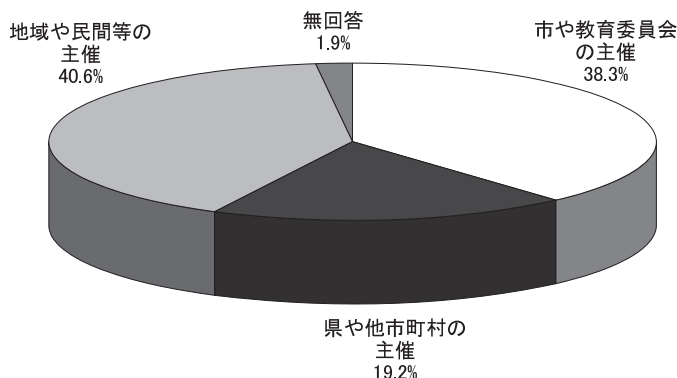
単位	基準年度 現状値	平成 24 年度 目標値	指標 分類
◇スポーツ活動に親しむ市民の割合	% 23.2	→	成果

市民の運動実施について見る指標です。市民アンケートで、ふだん週 2 回 30 分以上の運動をしていると回答した市民の割合です。

施策をとりまく環境変化

- ⊕ 高齢化率の上昇（平成 19 年 1 月 1 日現在 22.4%）
- ⊕ 団塊世代の大量退職
- ⊕ 健康づくりにスポーツの役割が増加
- ⊕ 総合型地域スポーツクラブを育成（平成 22 年まで）
- ⊕ 児童、生徒の体力が低下

主催別のスポーツイベント等に参加した人の割合



施策を実現する手段（基本事業の構成）

基本事業名	基本事業のねらい	基本事業の成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)
基本事業 5 - 3 - ① スポーツ活動の充実	●スポーツ活動に参加する機会が増え、より多くの市民がスポーツに親しむことができます。	◆スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合 ◆スポーツ大会・教室の機会の充足度
基本事業 5 - 3 - ② 体育関係団体・指導者の育成	●体育関係団体・指導者が育成され、地域でのスポーツ活動が活発になります。	◆スポーツ団体数（総合型地域スポーツクラブを含む） ◆体育関係団体の指導者数
基本事業 5 - 3 - ③ 体育施設の充実	●市民の多くが体育施設を快適に利用することができます。	◆体育施設の利用者数 ◆体育施設の修繕件数



用語解説

◆総合型地域スポーツクラブ：種目・世代や年齢・技術レベルの多様性を持ち、日常的に活動の拠点となる施設を中心に、会員である地域住民個々人のニーズに応じた活動が質の高い指導者のもとに行えるスポーツクラブのことです。

政策 5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり（教育・文化の振興）

施策 5 - ④ 学校家庭地域の連携

施策のねらい

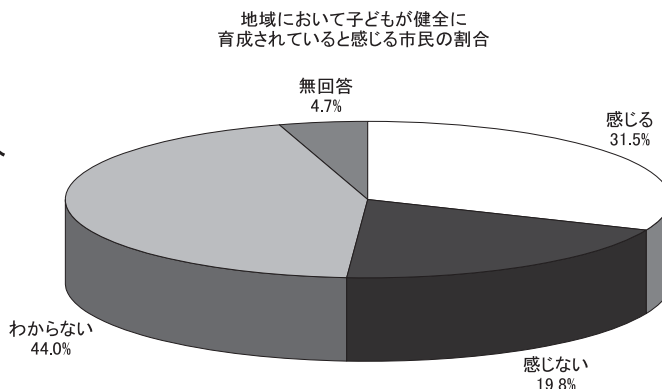
学校・家庭・地域が連携し、いきいきした子どもを育てます。

施策の成果指標（施策の目的達成度を示す指標）

	単位	基準年度 現状値	平成 24 年度 目標値	指標 分類
◇地域において子どもが健全に育成されていると感じる市民の割合	%	31.5	↑	成果
子どもが健全に育成されているかを見る指標です。市民アンケートで、地域において子どもが健全に育っていると感じると回答した市民の割合です。				
◇学校・家庭・地域が連携していると思う市民の割合	%	23.6	↑	成果
学校・家庭・地域の連携がうまく図られているかを見る指標です。市民アンケートで、学校・家庭・地域が連携していると思うと回答した市民の割合です。				

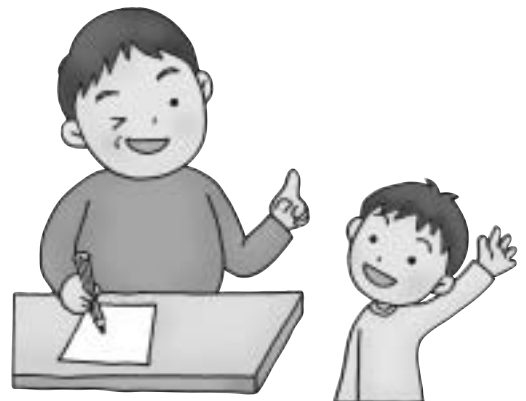
施策をとりまく環境変化

- ⊕ 核家族化・少子化・児童生徒の減少
平成 19 年 児童：3,263 人 生徒：1,917 人
平成 24 年 児童：2,520 人（△22.8%）
生徒：1,575 人（△17.8%）
- ⊕ 人間関係の希薄化（異年齢・大人との交流）
- ⊕ 子どもたちの規範意識の低下
- ⊕ 子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ
- ⊕ 自然、生活体験不足
- ⊕ 家庭教育力が低下していると思っている親の割合 70%
- ⊕ しつけや子育てに自信がない世帯の割合 17.6%
- ⊕ 離婚の増加
- ⊕ 完全週 5 日制の導入
- ⊕ 現学習指導要領の実施
- ⊕ 学校への保護者の参画が少ない状況



施策を実現する手段（基本事業の構成）

基本事業名	基本事業のねらい	基本事業の成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)
基本事業 5-4-① 開かれた学校づくり	●学校・家庭・地域で健全育成のために話し合い、方策を実施しています。 ●学校行事に地域住民が参加しています。	◆学校行事に参加している市民の割合 ◆学校ミニ集会などの学校との話し合いに参加した市民の割合 ◆学校と地域との話し合いによる方策・改善数
基本事業 5-4-② 教育情報の発信	●学校や教育に関する情報を提供し、現状や方針が伝えられ、理解されています。	◆教育関係部局のホームページアクセス数 ◆学校や教育に関する情報提供の満足度
基本事業 5-4-③ 家庭教育力の向上	●基本的な倫理観や自立心、自制心などの社会的マナーなどが身についています。	◆親業講座の参加者数 ◆家庭教育学級の延べ参加者数
基本事業 5-4-④ 地域教育力の向上	●異年齢、異世代の地域の人々との関わりの中で子どもが育っています。	◆青少年育成事業への児童・生徒の参加者数 ◆体験学習の参加者数



用語解説

- ◆学校ミニ集会 : 各学校を会場として誰もが自由に参加し、教育について考え、本音で「ひとづくり」を語り合うために実施している集会です。
- ◆おやぎょう親業講座 : 親としての役割を学ぶ講座です。

政策 5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり（教育・文化の振興）

施策 5 - ⑤ 人権尊重のまちづくり

施策のねらい

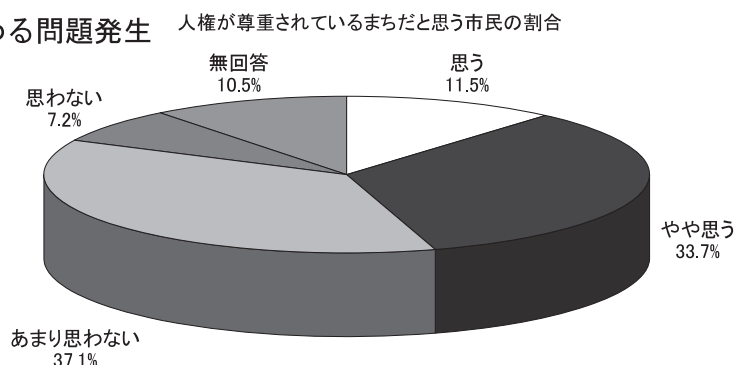
誰でも基本的人権が守られ、お互いの「個性」と「能力」を尊重する人権の共存社会が達成されます。
男女の不公平感が解消され、女性の社会進出が図られます。

施策の成果指標（施策の目的達成度を示す指標）

単位	基準年度 現状値	平成 24 年度 目標値	指標 分類
◇人権が尊重されているまちだと思う 市民の割合	% 45.2	▲	成果
市民の人権意識について見る指標です。市民アンケートで、人権が尊重されているまちだと「思う」「やや思う」と回答した市民の割合です。			
◇あらゆる分野で男女が対等に参画していると思う市民の割合	% 31.7	▲	成果
市民の男女共同参画意識について見る指標です。市民アンケートで、あらゆる分野で男女が対等に参画しているかについて「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合です。			

施策をとりまく環境変化

- ⊕ 男女共同参画社会基本法の制定（平成 11 年）
- ⊕ 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律の制定（平成 12 年）
- ⊕ こどもや高齢者への虐待、セクシュアル・ハラスメント、配偶者への暴力、いじめや不登校などの人権にかかわる問題発生
- ⊕ インターネットによる新たな人権にかかわる問題発生
- ⊕ 女性の社会進出



施策を実現する手段（基本事業の構成）

基本事業名	基本事業のねらい	基本事業の成果指標 (基本事業の目的達成度を示す指標)
基本事業 5 - 5 - ① 人権教育・人権啓発の推進	●人権が尊重され、人権を侵害させない教育・啓発が行われます。	◆この1年間に人権について学んだことのある市民の割合 ◆この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合
基本事業 5 - 5 - ② 人権相談の充実	●人権が侵害されたときに問題解決の道が示されます。	◆人権相談件数
基本事業 5 - 5 - ③ 人権擁護の推進	●人権を侵害する虐待、暴力、差別及び偏見がなくなります。	◆人権侵害に対する相談件数
基本事業 5 - 5 - ④ 男女共同参画の推進	●男女共同参画意識が定着します。	◆審議会などに女性委員が登用されている割合 ◆男は仕事、女は家庭という役割分担意識を解消する必要があると感じている市民の割合

